

# おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2020年7月号



## 今月の表紙

たか ぶち ゆう ちか こ  
高 沢 有さん・比子さん

れんと どうせい いさ  
蓮永くん・騰生くん・郁咲ちゃん  
(6歳) (3歳) (1歳)



【特集】令和元年度 事業報告・収支決算状況……………	2～3
特定非営利活動法人おはなしころりん……………	4
地域見守り・支えあい等支援拠点整備事業…	4
大船渡中学校布マスク寄贈……………	5
～安心して暮らせる 地域社会の実現を目指して～……………	5
お知らせ……………	6～7
輝き人……………	8

# 令和元年度 事業報告・収支決算状況



令和元年度は下記の5つの重点取組を中心に、住民一人ひとりが支えあい、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指した事業を実施したほか、大船渡市総合福祉センターの大規模修繕工事を実施し、地域福祉活動の拠点施設として誰もがより利用しやすい施設として整備しました。

そのほか、ボランティアの普及啓発、介護サービスの提供、子育て支援、生きがい健康づくりなど、個人や地域の福祉課題の解決に向け、多岐にわたり事業を展開しました。

## 重点取組

### 1 支えあいまちづくり事業

各地区助け合い協議会やサロン活動団体からの要請に応じ、連携・協働・情報共有により事業を推進しました。特に、地域課題の発見や解決策を参加住民で考える「住民支え合いマップ」は、市内7か所(新規3か所)延べ8回にわたり作成しました。また、サロン活動においては運営資金の助成だけでなく、開催されていない地域の設置に向けた職員の派遣や自主開催のきっかけづくりを進めました。

### 2 鈴木京子さんまごころ事業

申請のあった3か所の地区助け合い協議会へ助成金を交付し、運営の支援を行いました。また、高齢者世帯や障がい者世帯23世帯に対し公的サービスでは対応できない窓ふきや草刈りなどの支援を行いました。

そのほか、市内社会福祉施設で働きながら、新たな国家資格等を取得した16人に支援金の交付を行い、福祉人材、介護人材の定着を図りました。

### 3 生活困窮者に対する各種自立支援事業

経済的困窮や社会的孤立など、自立した生活を送ることが困難となっている人に対し、24時間体制で相談に応じ、関係機関と連携を図りながら生活再建を支援しました。また、一般就労が困難な人に、就労体験などを通じ、社会参加、就業に繋ぐ取組も進めました。

そのほか、家計の収支を把握することが難しく、困窮状態になっている人へ適切な家計管理ができるよう支援を行う「家計改善支援事業」に新たに取り組みました。

### 4 子育て支援・出会い支援事業の推進

子育て中の家族が他の家族と交流できる場を提供し、子育てにおける孤立感の緩和や相談、援助、情報提供を行いました。また、子育てにおける心身負担軽減のために、子どもを預かってほしい会員と預かることが出来る会員のマッチングを行いました。

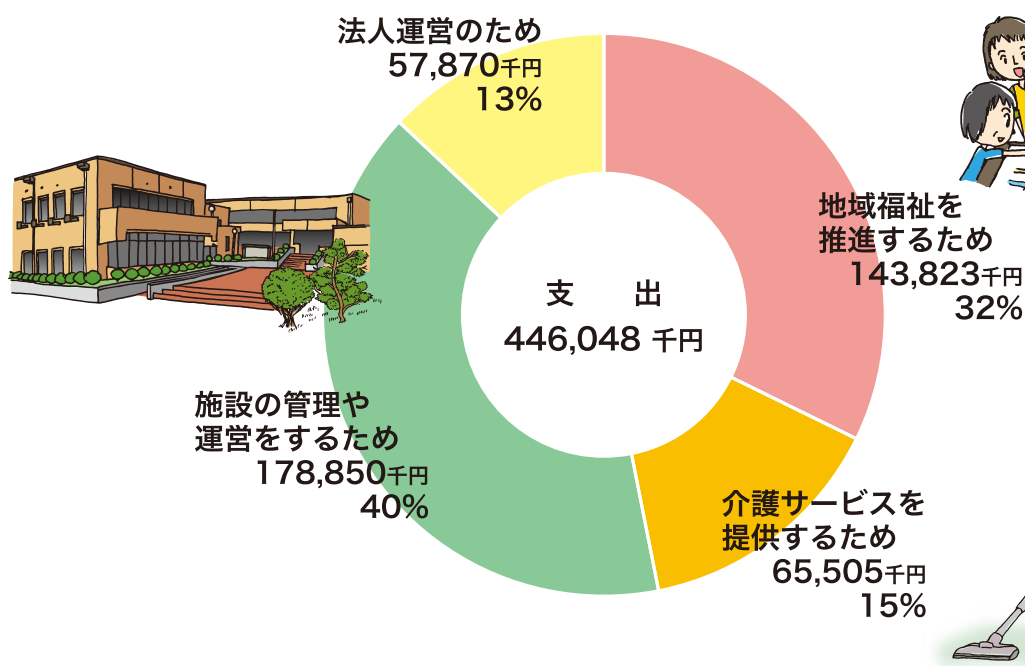
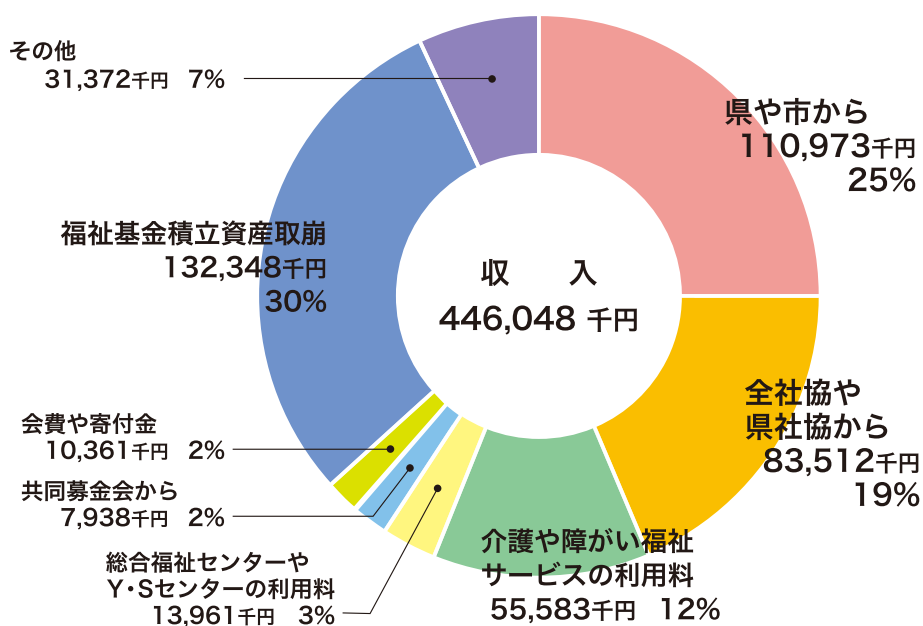
そのほかにも少子化、若者の定住促進を目的として出会いの場を提供するイベントを行い、2組のカップルが成立しました。

### 5 他法人との連携強化

市内社会福祉法人が、情報交換や法人運営上の共通課題、地域課題の共有を図るとともに、課題解決や地域公益活動のあり方などについて検討する機会を設けることを目指し、各法人に対し、趣旨の説明や意向の確認を行いました。

令和2年度には、一堂に会する場を設ける予定です。

## 令和元年度決算のあらまし



## 法人全体収支決算状況

事業活動計算書 (単位:千円)

科目	金額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	290,524
サービス活動費用計	406,280
サービス活動増減差額①	△115,756
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	183
サービス活動外費用計	0
サービス活動外増減差額②	183
経常増減差額③(①+②)	△115,573
特別増減の部	
特別収益計	0
特別費用計	1
特別増減差額④	△1
当期増減差額⑤(③+④)	△115,574
前期繰越活動増減差額⑥	144,963
当期末繰越活動増減差額⑦(⑤+⑥)	29,389
基金取崩額	132,348
次期繰越活動増減差額	161,737

資金収支計算書 (単位:千円)

科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入計	291,485
事業活動支出計	413,380
事業活動資金収支差額①	△121,895
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	28,414
施設整備等資金収支差額②	△28,414
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	147,466
その他の活動支出計	4,255
その他の活動資金収支差額③	143,211
予備費支出④	0
当期資金収支差額合計⑤(①+②+③+④)	△7,098
前期末支払資金残高⑥	114,093
当期末支払資金残高⑦(⑤+⑥)	106,995

貸借対照表 (単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	122,213	流動負債	15,218
固定資産	344,718	固定負債	38,673
(基本財産)	95,813	負債の部合計	53,891
(その他の固定資産)	248,905	純資産の部	
		基本金	10,100
		基金	85,277
		国庫補助金等特別積立金	60,899
		その他の積立金	95,027
		次期繰越活動増減差額	161,737
		純資産の部合計	413,040
資産の部合計	466,931	負債及び純資産の部合計	466,931



## 文通を通じて心と心をつなぎたい 特定非営利活動法人おはなしころりん



文通の内容は、人生や日頃のことなど千差万別です

新型コロナウイルスの流行で、多くの催物の中止や延期が余儀なくされてきました。読み聞かせを中心に活動を展開している特定非営利活動法人おはなしころりん（江刺由紀子代表）では、集うことが出来なくてもつながりをつくっていくために、新たに文通活動を始めました。

「これは、東日本大震災後から精力的に取り組んできたお茶飲み、読み聞かせサロンの参加者が昔は自分の気持ちを手紙にし

たためて送りあっていたという会話から着想を得たもの。現在、5歳から88歳までの幅広い年齢層で14人が参加しています。「相手のことを思い浮かべながら書いています。自分だけに送られてきたものだと思うと、もらった時の嬉しさもひとしおです」と話すのは会員の吉田晃子さん。吉田さんと文通をしている菅野瑠椈ちゃん（5）は、「吉田さんから手紙が来るのが楽しみです。とつても嬉しいですよ。特に書くのが楽しいです。ポストにも自分で入れに行きます」と話してくれました。

江刺代表は、「大人の参加にとどまらず、お子さんからの申し込みもあり、それぞれ温かい手紙のやりとりがなされています。もつとたくさんの人に利用されたら嬉しいですよ」と話してくれました。文通を希望する人は、特定非営利活動法人おはなしころりんまで連絡ください。

### 【問い合わせ先】

0192-21-6001

## 集会所を利用して住民の「コミュニティづくりをサポート 地域見守り・支えあい等 支援拠点整備事業



安心して集まれるよう感染予防対策も怠りません

東日本大震災から9年が経過し、社会福祉協議会では、新たなコミュニティ形成支援として集会所を活用した「大船渡地域見守り・支えあい等支援拠点整備事業」を実施しています。災害公営住宅等の集会所を拠点として、生活支援相談員が決まった曜日に常駐し、サロンや講座を開催しながら住民の交流活動を応援しています。昨年度はみどり町災害公営住宅で実施。多くの人が集会所に足

を運び、体操やニュースポーツなどの軽運動を通して交流を図っています。

新型コロナウイルスの流行により当初の予定より遅れましたが、7月1日から新たに赤崎町の高台にある「森っこ」地域でも集会所を利用して実施しています。

住民の只野萬里子さん（81）は「家でじっとしているのは好きじゃないので、ここで体を動かしたり、誰かと話す時間が楽しみ。定期的に通える場所が出来たのでありがたい」と話してくれました。

地域公民館長の中山進一さん（69）は、「仮設住宅のときから集会所に集まって、楽しく過ごしてきました。森っこでも住民が希望して設置された集会所を活用し、お茶を飲みながらのんびりと過ごせるような場として気軽に集まり、孤立する人がいないようなコミュニティをつくっていききたい」と今後の意気込みを話してくれました。

# 新型コロナウイルスの終息を願って 大船渡中学校布マスク寄贈



大船渡市立大船渡中学校（石橋和彦校長）ボランティア委員会は、7月6日（月）、手作りの布マスク28枚を社会福祉法人典人会に寄贈しました。

この布マスクは、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて6月初旬よりボランティア委員会が発行する「ボランティアだより」で作成者を募り、昼休みなどを活用して生徒が作成しました。マスクにはメッセージカードが添えられ一つひとつ丁寧に梱包されています。



生徒一人ひとりの思いがこもったマスクを送りました

この日は、ボランティア委員会の野田葵生委員長と岡澤琉星副委員長が顧問教諭とともに来所。

「大船渡中学校の生徒の皆さんは、東日本大震災後、毎年、地域住民とともに入所者と交流活動をしてきています。子どもたちからの送りものに感激です」と話すのは、受け取った介護老人福祉施設ひまわりの新沼康二施設長。

この施設に入所している女性は、「子どもたちが一生懸命作ってくれて嬉しい。つけ心地が良い」と笑みをこぼしていました。

野田委員長と岡澤副委員長は、「新型コロナウイルスで亡くなる人もいて、これ以上増えてほしくない、早く収まってほしいという思いをマスクに込めました。ボランティア活動も自粛せざるを得ませんでした。今回の寄贈を喜んでもらえたことで、改めてボランティアの必要性を感じました。これからも続けていこうと思います」と話してくれました。

# 新体制でスタート 安心して暮らせる 地域社会の実現を目指して

社会福祉協議会には、理事会（執行機関）、評議員会（議決機関）、監事（監査機関）の3つの機関があります。

理事と監事は評議員会において、評議員は評議員選任・解任委員会において選任されます。

この度、令和2年3月末で理事2人、評議員3人が辞任されたことに伴い、新たな理事、評議員が選任されました。

田村福子会長のもと、役員一丸となり、関係機関と連携協力しながら、住民一人ひとり

が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し各種事業を展開していきます。

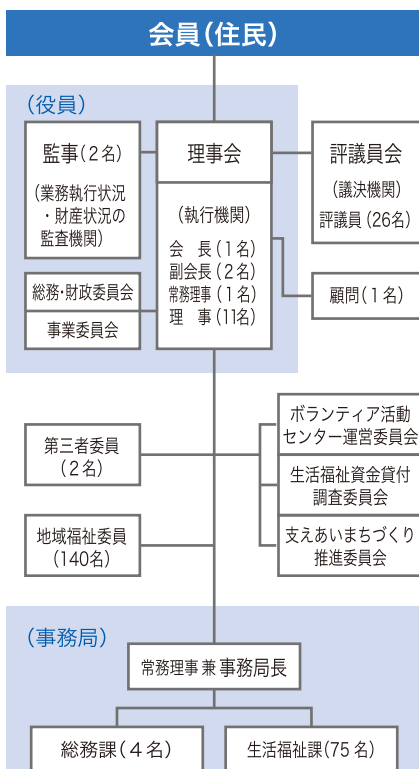
## 【新理事】

竹野武子、金野高之  
※任期 令和2年6月17日から令和3年6月の定時評議員会終結まで

## 【新評議員】

新沼幸夫、佐々木一義、舟野梯子  
※任期 令和2年6月1日から令和3年6月の定時評議員会終結時まで

## 大船渡市社会福祉協議会組織図



## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※正午から午後1時は消毒時間のため、ご利用できません。

場 所 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、8月21日(金)(午前10時～午前11時50分)に開催します。

### \*岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

### 介護のしごと相談日程（8月）

開催日	場 所	時 間
3日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
6日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
17日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
20日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
24日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
27日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん  
電話 080-8201-0200

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・ 大船渡市社会福祉協議会  
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

### \*子育て支援事業情報

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

### つどいの広場イベント日程（8月）

開催日	内 容	時 間
6日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
12日(水)	健康相談会	午前10時20分～午前11時50分
20日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
	ハローワーク出張おしごと相談会	午前10時～午前11時30分

### \*生きがい健康づくり事業 水泳教室（8月から9月）

下記の日程で各種水泳教室を開講します。事前申込みが必要です。

場 所 大船渡市Y・Sセンター

受付期間 ①7月28日(火)～7月31日(金)

午前9時～午前11時、正午～午後4時 ※消毒時間(午前11時～正午)は除く

②8月4日(火)～8月12日(水)

午前9時～午後3時 ※月曜日と消毒時間(午後3時～午後4時)は除く

受付方法 申込書と受講料を添えて申込み(電話での申込み可)

※電話申込みの場合は受付期間内に申込書と受講料を持って来所してください。受付期間内に来所されない場合は予約取消になりますのでご了承ください。

受 講 料 500円(プール利用料別)

### 水泳教室日程（8～9月）

曜日	教室名	時 間	開催日	定員	内容
火	スイスイ水泳教室(午前の部)	午前9時30分～午前10時30分	8月18日～9月15日の毎週火曜日(全5回)	15人	水泳指導
	スイスイ水泳教室(午後の部)	午後1時30分～午後2時30分		10人	
水	ラクラク水泳教室(午前の部)	午前9時30分～午前10時30分	8月19日～9月16日の毎週水曜日(全5回)	15人	水中運動
	ラクラク水泳教室(午後の部)	午後1時30分～午後2時30分		15人	
	リラックス水泳教室	午後6時30分～午後7時30分		15人	
木	チャレンジ水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	8月20日～9月17日の毎週木曜日(全5回)	15人	水泳指導
	初心者向け水泳教室	午後1時30分～午後2時30分		10人	
金	イキイキ教室(午前の部)	午前9時30分～午前10時30分	8月21日～9月18日の毎週金曜日(全5回)	15人	水中運動
	イキイキ教室(午後の部)	午後1時30分～午後2時30分		15人	
土	児童水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	8月22日～9月19日の毎週土曜日(全5回)	20人	水泳指導



## 各施設の利用制限

施設名	人数	時間
プール	21人以内 30人以内 (幼児用プール含む)	2時間以内
浴室	男女5人以内 男女6人以内	2時間以内
トレーニング室	5人以内 6人以内	1時間以内
つどいの広場(遊戯室)	10人以内 15人以内	1時間30分以内 2時間以内
ワークセンター	20人以内 25人以内	2時間以内
小会議室	8人以内 10人以内	2時間以内
大会議室	15人以内 20人以内	2時間以内

※なお、日曜日・祝日の遊戯室の開放は当面の間見合わせます。

### 問い合わせ先

社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会  
0192-27-0001(代表) 佐々木

## 寄付・寄贈の受入 (6月分)

福祉基金 匿名 2件  
寄付物品 有限会社大國物流 (食料品)  
匿名 (布団・タオル類)

### \*Y・Sセンター情報

## Y・Sセンター特別開館

大船渡市Y・Sセンターは通常月曜日が休館日となっていますが、利用者の利便性向上のため、月曜日が祝日、休日の場合は特別開館します。

開館日 8月10日、9月21日、11月23日、  
令和3年1月11日

対象施設 浴室、遊戯室を除く全施設  
※浴室は清掃、水の入替えのため使用不可  
開館時間 午前9時～午後5時

## Y・Sセンター 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う 利用制限緩和

### 利用制限緩和

6月16日(火)からY・Sセンターの利用が再開され、施設利用ルールが定着してきていることから、以下の通り8月1日(土)から利用制限を緩和します。

今後も、利用者の利用状況、新型コロナウイルス感染の状況などを考慮しながら利用制限の緩和について検討していきます。

#### (1)Y・Sセンター

午前9時から午後8時まで

#### (2)つどいのひろば

午前の部 午前10時から正午

午後の部 午後1時から午後3時

※午後3時から午後4時まで消毒時間のため一時閉館します。

## 今月の表紙

高 淵 有さん  
比 子さん  
蓮 永くん  
騰 生くん  
郁 咲ちゃん  
(末崎町在住)

撮影に訪れると、子どもたちが元気よく遊んでいました。これからも兄妹仲良くしてくれることがお父さん・お母さんの願いです。



## 我が家のペット

### 我が家の「姫ちゃん」(3歳6か月)

妖精のような白い毛、鉛玉のような真っ黒な目鼻が特徴の姫ちゃん。夢は社協のヘルパーとして働くことだそうです。

末崎町 ペンネーム 姫の親バカお父さん

ココロした  
まん丸お目々が  
めんこいごど♡



## 投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

#### ①写真データをメールする

ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

#### ②写真を郵送する

〒022-0002

立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内  
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係

#### ③本会に直接写真を届ける

#### ①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前(ペンネーム可)
- ・住所(町まで可)を必ず添えてください。

次号締め切り  
8月5日(水)

どしどしご応募ください!

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

# 輝き人

くま がい ひとみ  
熊 谷 瞳さん(43歳)

地域密着型デイサービスセンターであいの樹で介護福祉士兼相談員として勤務。利用者さんと家族が笑顔で生活できるようサポートしている。



## 利用者さんと家族の笑顔を大切に

### ○きっかけはボランティア体験

福祉の道を歩むきっかけとなったのは、高校3年生の時のボランティア体験です。

人見知りでしたが、人と接することが苦手な私が、高齢者施設に入所しているみなさんの前では、身構えることなく自然体の自分でいられることに気づき、将来は福祉の仕事に就きたいと思うようになりました。

高校卒業後、専門学校で介護を学び、仙台市内や大船渡市内のデイサービス、グループホームなど複数の施設で経験を積み、現在は地域密着型デイサービスセンターであいの樹で働いています。

### ○利用者さんだけでなく家族のサポートも

デイサービスでは、送迎のほか食事や入浴の介助、身体機能を維持するためのレクリエーションなどのサービスを提供しています。

### ○地域の「つあぐ」の場やこつ

「であいの樹」は定員が13名で毎日10人弱の利用者さんが来所します。

地域のみなさんを招待したり、保育園の子どもや高校生とレクリエーションをしながらコミュニケーションを取り、交流を図ったりもします。

毎月第3土曜日に実施しているお茶会では地域の交流の場としてであいの樹を開放しています。参加者の中には、昔ながらのお菓子を持参する人もいます。

お菓子の作り方を聞きながら、昔を思い出し、利用者さんが笑顔になっているのを見るととてもうれしくなります。

今後地域密着型デイサービスセンターとして、地域にとつての「であい」の場として、様々な「であい」を作り、地域の関係機関や近隣住民のみなさまと連携し、地域に根付いたデイサービスセンターを作り上げていきたいです。

利用者さんの笑顔は家族を安心させますが、利用者さんを笑顔にすることだけでなく、利用者さんの家族も笑顔で安心して生活を送れるようにサポートしたいと思っています。